

英語科（コミュニケーション英語Ⅰ）学習指導案

授業者 不來方高等学校

指導教諭 松尾 美幸

- 1 日時 令和元年10月28日（月） 3校時
- 2 クラス 1年 2組（男子18名 女子22名 合計 40名）
- 3 教科書 WORLD TREK English Communication I（桐原書店）
- 4 単元名 Lesson 6 The Wonderful World of Colors
- 5 単元の目標及び評価規準

(1) 単元の目標及び評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度 ① 自分と相手の意見の共通点・相違点を意識しながら、積極的に自分の考え述べようとしている。 ② ペアやグループワークにおいて、頷いたりしながら相手が話しやすいように配慮して聞こうとしている。	イ 外国語表現の能力（話すこと・書くこと） ① チャートを使って、色が連想させるものや色の効果について説明する。 ② 自分の好きな色の特徴や好きな理由などを述べる。
ウ 外国語理解の能力（聞くこと・読むこと） ① 色を通して見えてくる時代・地域の文化的な違いや、色が心理に与える効果について読み、概要や要点を捉えることができる。 ② 日常生活の身近な話題に関する簡単な話を、ゆっくり（または繰り返し）話されれば、ほぼ理解できる。	エ 言語や文化についての知識・理解 ① 関係代名詞の形・意味・用法を理解し、基本的な言語規則に基づいて、適切に話したり書いたりすることができる。 ③ 色を通して見えてくる時代・地域の文化的な違いや、色が心理に与える効果について理解する。

(2) 学習到達目標（CAN-DO LIST）との関連

聞くこと L	・英語での説明や意見を聞いて、必要な情報を的確に理解することができる。
読むこと R	・単純な英文で書かれた、ある程度まとまった文章を、辞書や写真等のヒントがあれば概要や要点（出来事のつながり）を理解することができる。
話すこと S	・自分の意見や感想について、メモをとったり準備をしたりした上で、平易な文で述べることができる。
書くこと W	・自分の感想や意見、出来事の描写等について、5～6文程度の英語で書くことができる。

6 指導計画（全10時間中 本時1時間目）

時間	指導内容	(1) 単元の目標 (2) CAN-DO との関連	評価方法
1 本時	Get Ready	(1) ア・イ・ウ・エ (2) L・S・W	観察・ ハンドアウト
2	Part 1 Reading Comprehension	(1) ア・イ・エ (2) L・R・	観察 ハンドアウト
3	Part 1 Get the Gist/ Grammar / Reading Tips	(1) ア・イ・エ (2) L・R・S・W	観察 ハンドアウト

4	Part 2 Reading Comprehension	(1) ア・イ・エ (2) L・R・	観察 ハンドアウト
5	Part 2 Get the Gist/ Grammar / Reading Tips	(1) ア・イ・エ (2) L・R・S・W	観察 ハンドアウト
6	Part 3 Reading Comprehension	(1) ア・イ・エ (2) L・R・	観察 ハンドアウト
7	Part 3 Get the Gist/ Grammar / Reading Tips	(1) ア・イ・エ (2) L・R・S・W	
8	How do colors affect our feelings?	(1) ア・イ・ウ・エ (2) L・R・S・W	
9	Story Review / Grammar Review	(1) ア・イ・ウ・エ (2) L・R・S・W	
10	Communication Task	(1) ア・イ・ウ・エ (2) L・S・W	

7 本時の目標及び評価規準

(1) 本時の目標

自分の好きな色を使って，自分を表現できる。

(2) 本時の評価規準

	概ね満足できると判断される状況 (B)	Bのうち十分満足できると判断される状況 (A)	努力を要する生徒への指導の手立て (C)
本時の目標	自分の好きな色について，ある程度まとまりのある英文で相手に伝えている。	自分の好きな色について，伝えたい内容を整理しながら，聞き手にわかりやすく伝えている。	表現したい内容や語彙を確認しながら，ヒントを与えたり発話を促す質問をしたりする。

8 本時の展開案

過程	指導過程	生徒の学習活動	指導上の留意点	主な評価の観点	評価方法
導入 10分	【学習の見通し】	Warm Up ・Self-introduction by the instructor ・授業者の自己紹介を聞き，内容に関してやりとりする。 Introduction ・本時のゴールを確認し，その達成に向けて行う言語活動の内容を確認する。	・緊張なく，教室全体が本時の表現活動に向かう雰囲気を作る。 ・生徒たちの発話を促しながら英語の難易度を調整する。 ・本時の活動内容とゴールを生徒と共有する。		

<p>展 開 35 分</p>	<p>【学習活動】</p> <p>Presentation of the Topic</p> <p>Comprehension</p> <p>Short Speech & Interaction</p> <p>Opinion Exchange</p>	<p>Activity 1</p> <ul style="list-style-type: none"> 色の英語の名称の確認をしながら発音練習を行う。 自分の好きな色をハンドアウト上に記入する。 ペアで共有・比較する。 <p>Activity 2</p> <ul style="list-style-type: none"> それぞれの色のイメージについて考え、ハンドアウト上に記入する。 <p>Activity 3</p> <ul style="list-style-type: none"> <色> makes me feel ~. の文構造を使って、色の印象を表現する。 <p>Activity 4</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の好きな色, 自分の好きなものの色などをハンドアウト上に表現する。 自分の好きな色等についてペア・グループで発表し合う。 相手を変えながらスピーチセッションを行う。 印象的だった友人のスピーチについて発表する。 自分のスピーチ内容をハンドアウトに書く。 	<ul style="list-style-type: none"> Instruction checking Questions(ICQs)を効果的に使う。 次の活動に必要な語彙を与えるために、選択肢を用意し、それを活用するよう促す。 グループで可能な限り多様な答えを共有する。 表現活動に必要な文構造であることを意識させる。 自由な意見交換を促す。適宜、あいづち表現などを確認する。 興味深い意見を共有する場面を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 正しく発音できているかどうかを確認する。 活動内容の指示を理解し、適切に反応しているかどうか。 積極的にターゲット文を使って表現しようとしているかどうか。 伝えたい内容を整理しながら相手に伝えているか。また、やりとりを継続しようとしているか。 	<p>観察</p> <p>観察</p> <p>ハンドアウト</p> <p>観察</p> <p>観察</p> <p>ハンドアウト</p>
<p>終 末 5 分</p>	<p>【振り返り】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りシートに自己評価とコメントを記入する。 課題の内容を確認する。 感謝・拍手 	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価による内省の時間を設ける。 課題の指示をする。 褒める・感謝・拍手 		